

アジア・ゲートウェイ構想の実現に向けた 航空分野の取組み

<参考資料>

1. 関空、中部、地方空港とアジアとの間のオープンなネットワークの展開
2. 一般空港等における国際航空ネットワークの推移
3. 小松・能登空港へのチャーター便就航とタイアップしたVJC地方連携事業について
4. 羽田空港暫定国際ターミナルビルの拡張整備について
5. 羽田 関空 中国ルートの特便性について
6. 羽田空港の新滑走路工事について

平成19年4月25日
国土交通省 航空局

1. 関空、中部、地方空港とアジアとの間のオープンなネットワークの展開

関西国際空港において
週496便のアジア便が就航
就航都市数: 32都市
(うち外国企業70%、日本企業30%)

地方空港23空港において
週369便のアジア便が就航
就航都市数: 22都市
(うち外国企業98%、日本企業2%)

福岡空港

ソウル: 31便 釜山: 9便 濟州: 6便
 北京: 11便 (うち大連経由: 5便、青島経由: 4便)
 大連: 10便 (うち5便北京行) 青島: 4便 (北京行)
 上海: 28便 広州: 7便 瀋陽: 3便
 台北: 21便 (うち7便香港行) 香港: 7便 (台北経由)
 シンガポール: 5便 バンコク: 10便 マニラ: 4便
 ホーチミン: 4便

新千歳空港

ソウル: 7便 釜山: 3便
 香港: 4便 瀋陽: 2便
 台北: 13便 上海: 3便
 ユジノサハリンスク: 1便

旭川空港

ソウル: 3便

函館空港

ソウル: 3便
 ユジノサハリンスク: 2便

秋田空港

ソウル: 3便

青森空港

ソウル: 4便

新潟空港

ソウル: 7便 上海: 2便
 ハルビン: 4便
 ウラジオストック: 2便
 ハバロフスク: 2便

仙台空港

ソウル: 7便 台北: 2便
 長春: 2便 北京: 6便
 (うち大連経由: 2便、上海経由: 3便)

広島空港

ソウル: 7便 上海: 7便
 北京: 4便 (大連経由)
 大連: 8便 (うち4便北京行)
 台北: 7便
 バンコク: 2便

小松空港

ソウル: 4便 上海: 3便

美保空港

ソウル: 3便

福島空港

ソウル: 3便 上海: 2便

中部国際空港
において週282便の
アジア便が就航
就航都市数: 22都市
(うち外国企業70%、
日本企業30%)

富山空港

ソウル: 3便 上海: 3便
 大連: 4便
 ウラジオストック: 3便

新北九州空港

広州: 3便 (上海経由)

長崎空港

ソウル: 2便 上海: 2便

岡山空港

ソウル: 7便 上海: 7便

高松空港

ソウル: 3便

静岡空港(建設中)

大分空港

ソウル: 2便

松山空港

ソウル: 3便 上海: 2便

那覇空港

ソウル: 3便 上海: 2便
 台北: 14便 マニラ: 3便

熊本空港

ソウル: 3便

鹿児島空港

ソウル: 3便 上海: 2便

宮崎空港

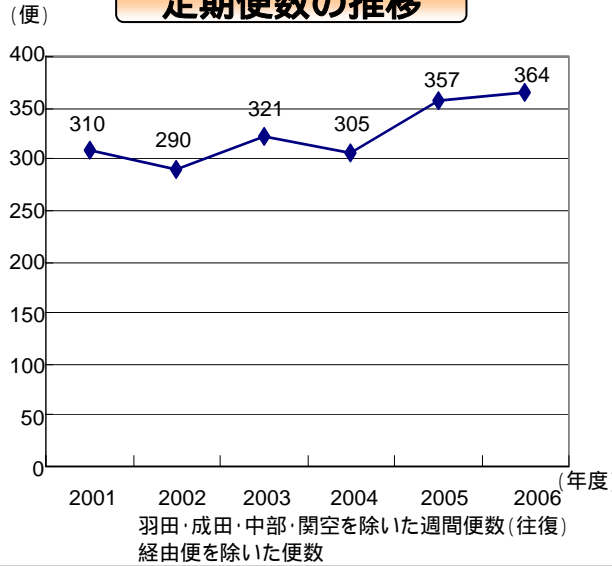
ソウル: 3便

2007年4月1日現在の定期旅客便数。
 なお、記載の数字は週当たりの往復便数であり、経由の場合、経由地も1便として計上。

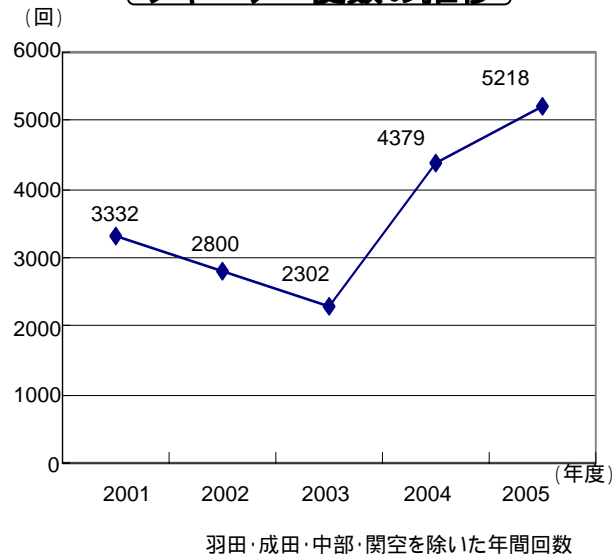
2. 一般空港等における国際航空ネットワークの推移

地方空港においては、それぞれの特性や航空需要に応じて世界各地とのネットワークを拡充。

定期便数の推移

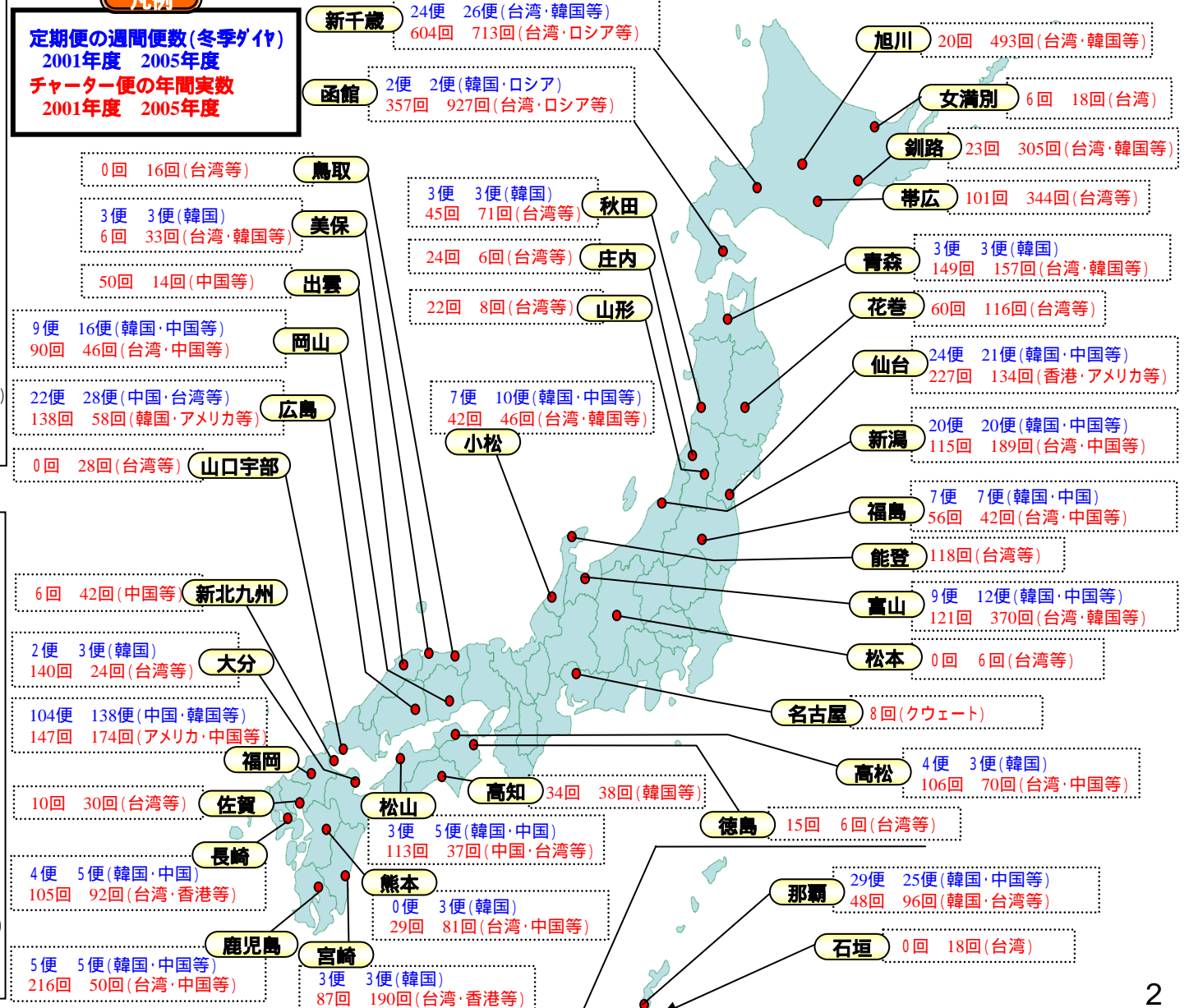


チャーター便数の推移

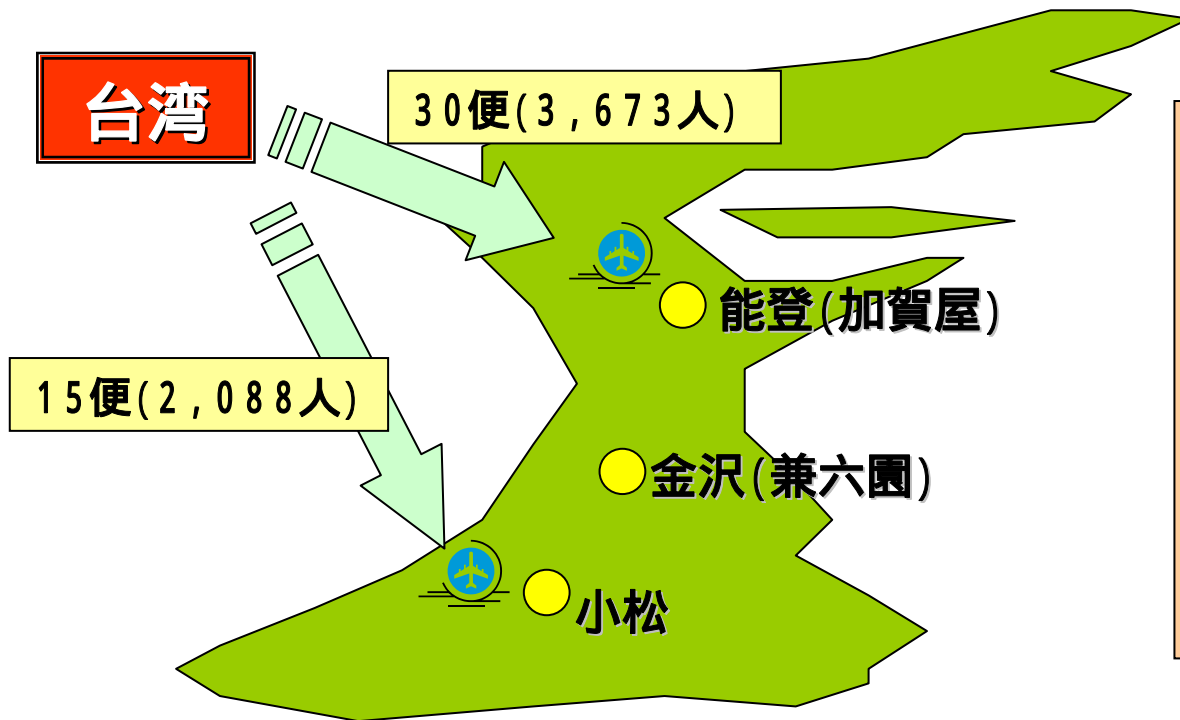


凡例

定期便の週間便数(冬季ダイヤ)
2001年度 2005年度
チャーター便の年間実数
2001年度 2005年度



3. 小松・能登空港へのチャーター便就航とタイアップした VJC地方連携事業について（平成18年度）



【事業概要】

1. 能登空港は、北陸信越地域への台湾人観光客入込みの一大拠点となっている。
2. 平成18年度中のチャーター便運航計画に合わせて下記のVJC地方連携事業を実施した。

- ・台湾での新聞・雑誌広告
- ・街頭大型ビジョン広告
- ・テレビ紀行番組放映
- ・PRパンフレットの作成

- ・18年4月～6月については、小松・能登のチャーターに加え南紀～能登の広域チャーターを実施
- ・18年9月～12月については、小松・能登のチャーターを実施
- ・18年入込み 加賀屋:17,210人(対前年比93%)
兼六園:59,852人(対前年比119%)

4. 羽田空港暫定国際ターミナルビルの拡張整備について

暫定国際ターミナルビルの問題点

到着客

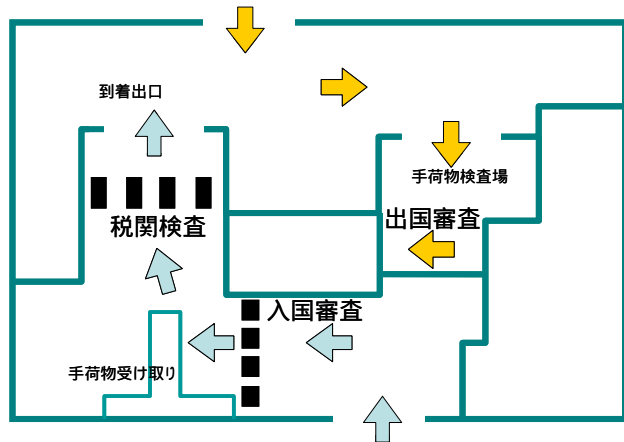
遅延等により到着便が重なった際には、手荷物受取り用のターンテーブルが1基しかないため、場合によっては、到着客が機内でそのまま待たされる事態も発生。入国審査や通関手続に要する時間が通常の2倍以上になる場合もあり。

出発客

手荷物のセキュリティチェックが、3月から始まった液体物の機内持ち込み制限の影響もあり、出発便が集中した場合には、セキュリティチェック等の諸手続に要する時間が通常の2倍以上になる場合もあり。

対応(案)

現状

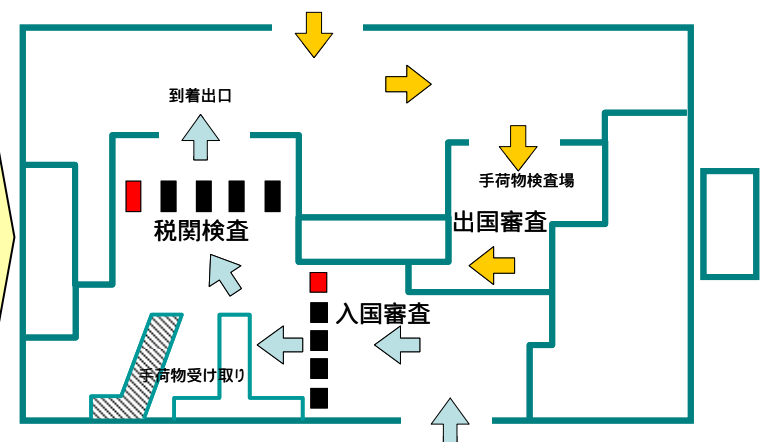


↑ 到着
↑ 出発

暫定国際ターミナルビルの改修・機能拡充

- ・手荷物受取り用ターンテーブル1基増設
- ・CIQ施設の増設
(入国審査ブース1基2レーン、税関検査ブース1基2レーン)
- ・航空会社のチェックインカウンターの増設
- ・待合ロビーの増床

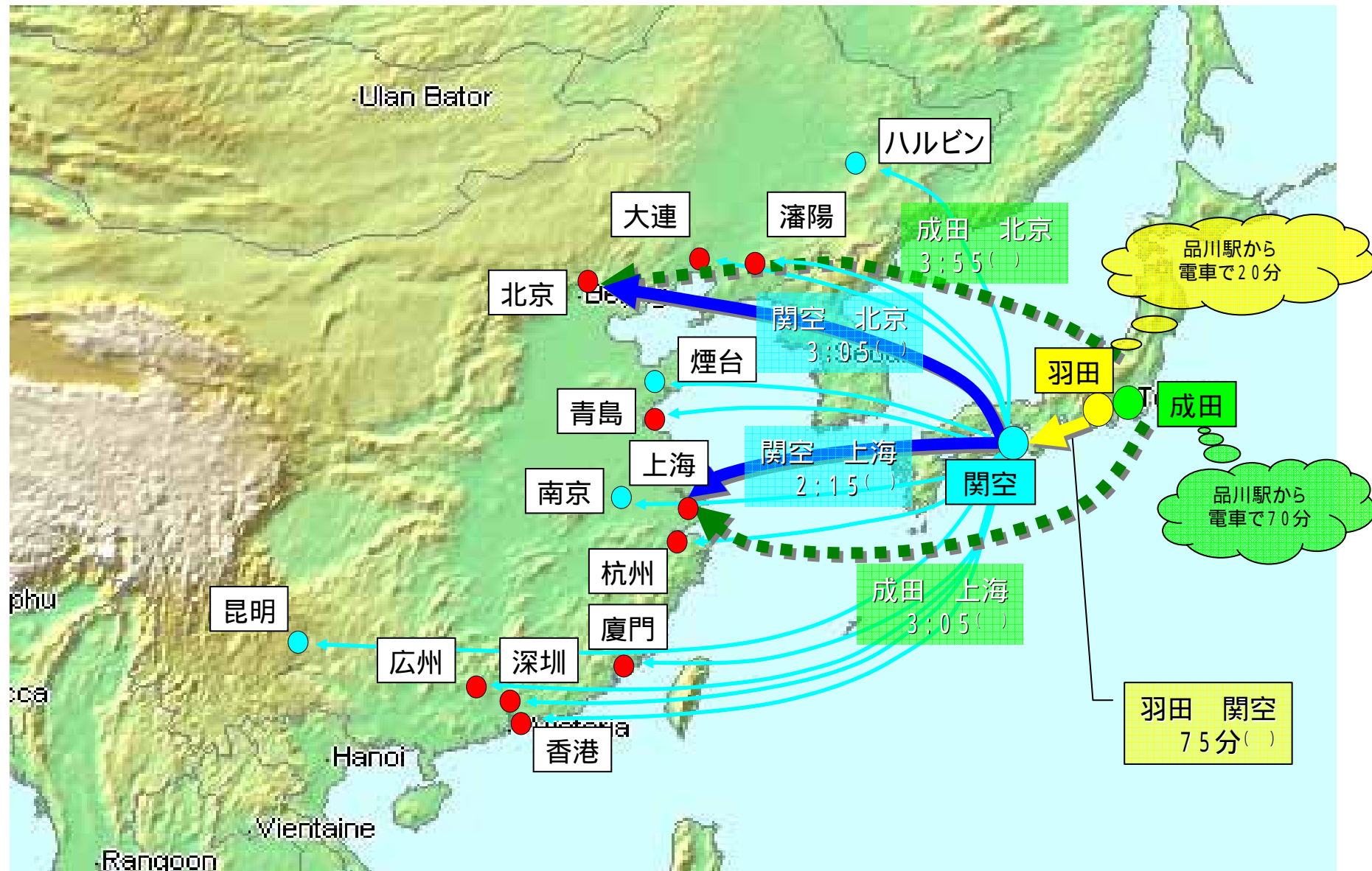
拡張後



↑ 到着
↑ 出発

■ 増設部分

5. 羽田 関空 中国ルートの特便性について



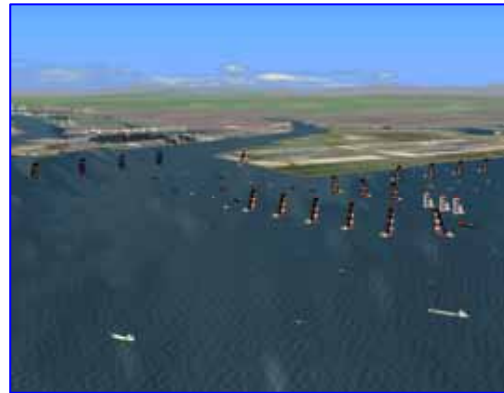
● 成田、関空就航都市 (10都市) ● 関空のみ就航都市 (4都市)

() 飛行時間

6 . 羽田空港の新滑走路工事について



【連絡誘導路部】



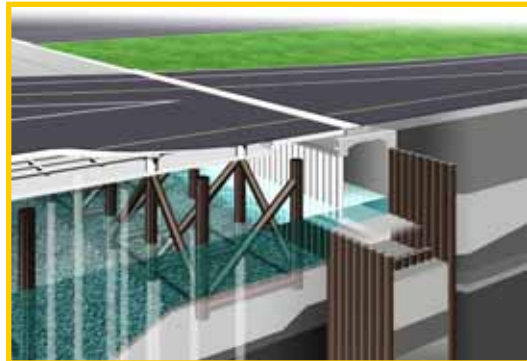
【埋立部地盤改良実施時】



【滑走路舗装開始時】



サンドコンパクション船(地盤改良に使用)
高さ = 78m



【接続部】



架橋部

連絡誘導路部

埋立部

接続部



起重機船(ジャケット据付けに使用)
高さ=131m



【架橋部】



起重機船(杭打設に使用)高さ = 122m